

激増！ 高速道路「人対車」の事故 ～ お願い！ そこには立たないで ～

1 高速道路での「人対車」の事故が昨年に比べ倍増（11月末までの交通事故発生状況）
交通事故や車両故障などで高速道路の本線車道又は路肩に降車していた運転者などが、他の通行車両にはねられ死亡する事故が激増しています。

高速道路における「人対車」の死亡事故は、本年11月末で30件、死者は36人と前年に比べ倍増し、高速道路での死亡事故全体の約18.8%を占めるに至っています。

（注：数字はいずれも速報値）

高速道路上に人が降り立った原因では、車両故障11件（36.7%）、交通事故9件（30.0%）が全体の7割弱を占め、以下、「立ち入り」（4件）、「その他」（4件）「道路作業中」（2件）となっています。

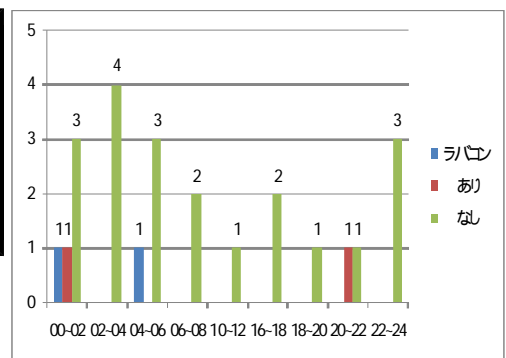
しかしながら、故障などで車両が停止していることを知らせる停止表示器材等を表示していたものは、「立ち入り」及び「道路作業中」を除く24件中わずか4件、特に夜間の発生が多いことから、停止表示器材の不表示が夜間における歩行者等の発見遅れにつながっていると思われます。

これら「人対車」の事故が増えた背景には、高速道路の走り方等に関して誤った認識を持つドライバーが多くなったことが原因の1つにあると考えます。（別添 - 1）

【高速道路での交通死亡事故発生件数】

	11月末現在		H22年	H21年
	H23年	H22年		
人と車の死亡事故発生件数	30件	15件	18件	29件
死者数	36人	18人	21人	33人
構成率	18.75%	9.93%	10.84%	18.01%
死亡事故発生件数	160件	151件	166件	161件
死者数	181人	171人	188人	178人

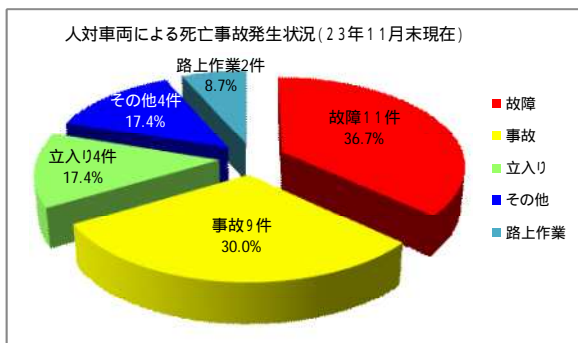
【停止表示器材の表示有無/時間帯】



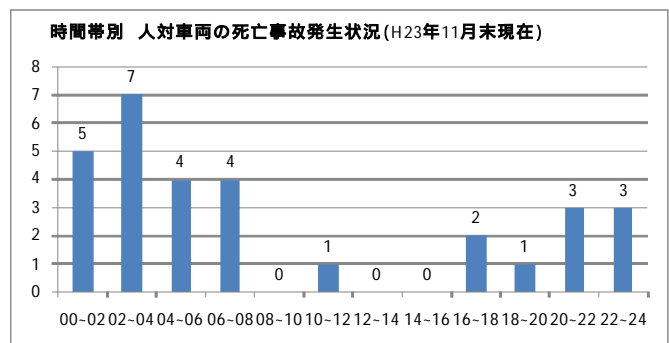
注1 平成22年、21年は1年間の全件数、11月末現在は平成22年、23年の11月末現在の速報値による件数である。

注2 人と車の死亡事故の構成率は、高速道路での死亡事故発生件数に占める人と車の死亡事故件数により算出した。

【原因別事故発生状況】



【時間帯別事故発生状況】



2 高速道路を安全に利用するために

この種事故を防止するために、事前に車両の点検を行うとともに、万一、故障や事故により運転を継続することが困難な状態になった場合は、後続車に対する安全措置をとった後に、速やかに高速道路のガードレールの外側などの安全な場所に待避して下さい。

また、運転する人は高速道路を走行する上でのルールを守り、安全を確認しながら走行しましょう。特に夜間の走行の際は、安全確認のため前照灯の切り替えをこまめに行いましょう。

高速道路の安全な利用に当たって必要な留意事項をまとめましたので、安全な利用に努めてください。（別添 - 2）